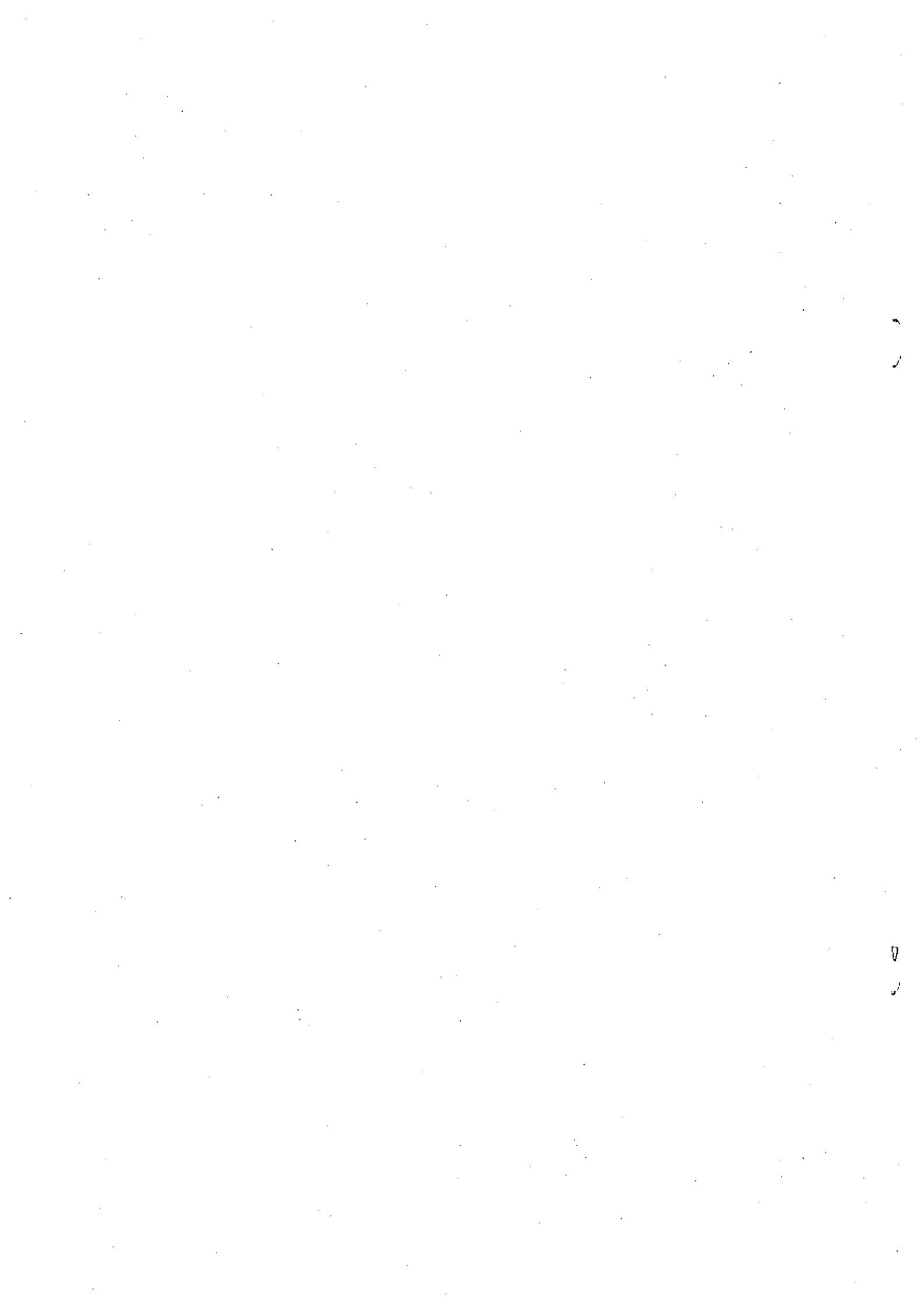


# 農林水産商工常任委員会提出資料

(平成29年1月19日)

項 目	ページ
1 国内の農場で発生した高病原性鳥インフルエンザへの 対応状況について	
【畜産課】 -----	1
2 JR西日本による「お嬢サバ」養殖計画について	
【水産課】 -----	2
3 とっとり・おかやま新橋館の運営状況について (H28年10月～12月)	
【販路拡大・輸出促進課】 -----	3

農 林 水 産 部



## 国内の農場で発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応状況について

平成29年1月19日

畜産課

今冬は国内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生しており、現在までに8例が発生しました。本県では発生の都度、庁内連絡会議を開催し、関係機関で発生県の情報を共有するとともに今後の対応方針を協議し、家畜保健衛生所職員による養鶏場等の野生動物侵入対策の再点検等を実施しました。今後も養鶏場、小学校、福祉施設への注意喚起と感染防止対策の徹底を図っていくこととしています。

### 1 発生経過

	発生地	畜種	飼養羽数	発生日	備考
1	青森県青森市	あひる（フランス鴨）	18,360羽	H28.11.28	
2	新潟県関川村	採卵鶏	314,000羽	H28.11.29	
3	新潟県上越市	採卵鶏	236,000羽	H28.11.30	
4	青森県青森市	あひる（フランス鴨）	4,720羽	H28.12.2	1例目の関連農場
5	北海道清水市	採卵鶏	284,000羽	H28.12.16	
6	宮崎県川南町	肉用鶏	122,000羽	H28.12.19	
7	熊本県南関町	採卵鶏	91,856羽	H28.12.26	
8	岐阜県山県市	採卵鶏	78,084羽	H29.1.14	

### 2 県の対応状況

- (1) 庁内連絡会議の開催（11/29（火）、12/16（金）、12/20（火）、12/27（火）、1/14（土））により、関係課で発生県の対応状況を情報共有し対応方針を協議した。
- (2) 県内養鶏場の状況確認を発生毎に実施した。  
ア 異常鶏の有無の聞取調査 → 全農場（84農場）  
イ 発生農場との鶏や餌の流通等疫学関連の調査 → 関連無し
- (3) 県内養鶏場へ農場出入口等の消毒及び鶏舎への野鳥等侵入防止対策の徹底を指示し、各養鶏場に100kgの消石灰を配布した。
- (4) 発生情報と鶏肉・卵の安全性のPR、野鳥の対応をHPに掲載し一般県民向けに広報した。
- (5) 県内全農場（84農場）、学校及び福祉施設について2回（11/29～12/5、12/19～12/28）、野生動物侵入対策の再点検を実施した。

### 3 今後の対応

- (1) 養鶏場に対し、家畜飼養衛生管理基準遵守と異常家きんを確認した場合の家畜保健衛生所への早期通報の徹底を指導する。また、消石灰による県内全養鶏場の消毒を実施中（1/16～）。
- (2) 昨年、県内の野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことに伴い環境省が指定した野鳥監視重点区域は、鳥取市が1月3日0時、米子市が1月5日0時にいずれも解除されたが、定期的なパトロールにより監視体制の強化を継続する。

#### <県民の皆様への注意事項>

家きん卵、家きん肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されておりません。また、鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除き、通常では人には感染しないと考えられていますが、念のため、県民の皆様には次のことをお願いします。

- ・死亡した野鳥は素手で触らないでください。また、感染した野鳥を補食した野生の小動物が感染した事例がありますので、これら小動物に素手で触ることもやめてください。
- ・死亡野鳥や鳥の排泄物に触れた後には、手洗いやうがいをしてください。
- ・死亡又は衰弱した野鳥を見つけた時は、最寄りの県生活環境事務所、県総合事務所生活環境局に連絡し、その指示に従ってください。

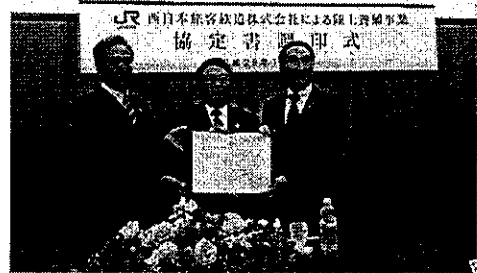
# J R西日本による「お嬢サバ」養殖計画について

平成29年1月19日  
水産振興局水産課

1月10日に県と岩美町は、J R西日本と陸上養殖マサバ「お嬢サバ」養殖事業の実施について協定を締結しましたので、その概要を報告します。

## 1 事業実施場所

岩美郡岩美町大谷2182-484（網代漁港内）  
県有地約1,700㎡（有償貸付）



## 2 事業実施計画

### (1) 施設整備

#### ①整備計画

飼育用水槽（直径8m・50t）9基  
魚の選別等を行う出荷用の水槽（直径4m・10t）4基  
地下海水取水設備7基（地下10mの地層が含む海水を汲み上げ）

#### ②事業費

総工費：60,000千円  
うち県補助金20,000千円  
町補助金10,000千円

### (2) お嬢サバ生産計画

県栽培漁業センターから生後1～2か月の稚魚を購入（6万尾）  
250g～500gに育てた後に出荷（3～4万尾）

### (3) お嬢サバ出荷計画

卸値：1匹900円程度  
卸先：関西や首都圏などの飲食店、地元の旅館や飲食店のほか、トワイライトエクスプレス「瑞風」車内食堂での提供や海外展開（シンガポール等）を検討中

## 3 J R西日本の事業実施スケジュール

H29年1月10日 協定調印式  
1月中旬 養殖施設工事の着工  
5月末 養殖施設の完成  
6月～ お嬢サバの飼育開始  
H30年3～5月 お嬢サバ初出荷  
6月～ 2期目の飼育開始（その後は同じサイクルで生産・出荷）

## 4 お嬢サバの特徴

地面に浸透する際に砂などで濾過された海水を用いて養殖したマサバであり、アニサキスなどの寄生虫が付きにくく生食できる。白子や卵も食べられるため、付加価値が高い。

## 5 これまでの経緯

- 平成24年度から県栽培漁業センターで先駆的に地下海水を用いた陸上養殖試験を実施
- 平成27年度からJ R西日本が、鯖料理専門店を通じて大阪、東京、シンガポール等で市場調査を実施

## とっとり・おかやま新橋館の運営状況について (H28年10月~12月)

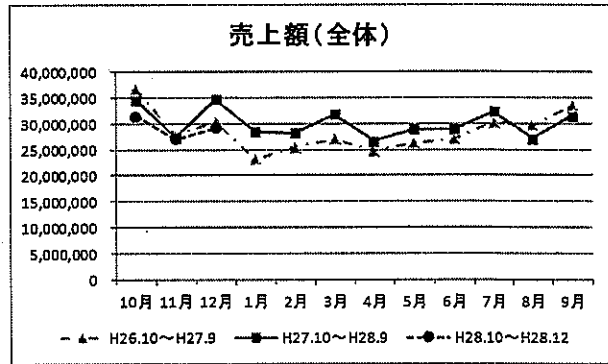
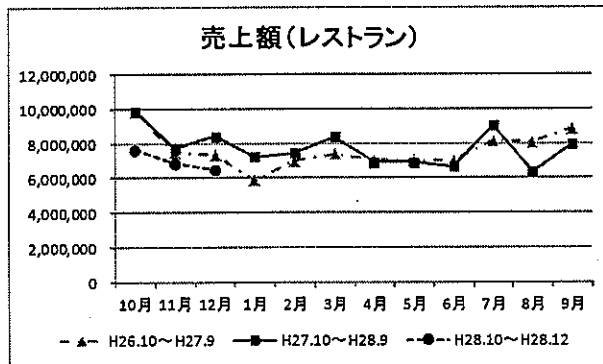
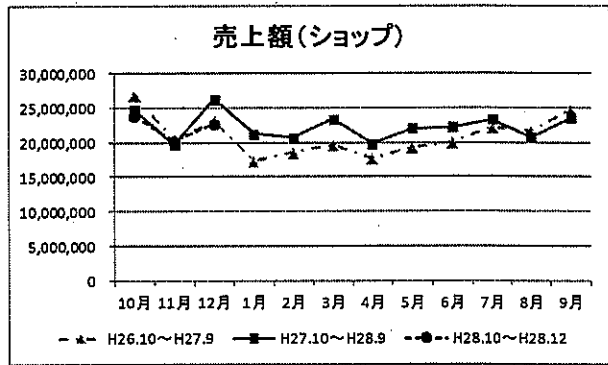
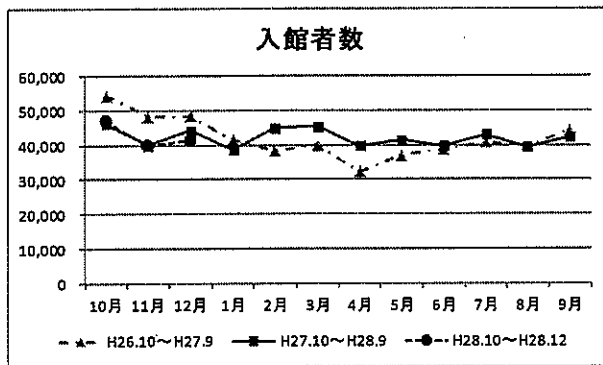
平成29年1月19日  
東京本部  
販路拡大・輸出促進課

鳥取県と岡山県の共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の平成28年10月から12月までの運営状況について報告します。

1 入館者数 128,282名(対前年比 98%) ※開店からの入館者数 1,145,836名

### 2 売上金額

	売上金額(対前年比)	客単価(対前年比)
ショップ(物販)	66,572千円(94%)	1,498円(90%)
レストラン(飲食)	20,963千円(81%)	1,752円(95%)
計	87,535千円(91%)	—



3 取扱品目数 ※H28.11月末現在

鳥取県:900品目(生鮮品 80品目、加工食品 590品目、非食品 230品目)

岡山県:883品目(生鮮品 94品目、加工食品 711品目、非食品 78品目)

4 催事スペース等の利用日数及び主なイベント

(1) 利用日数(開館日数92日)

	利用日数(対前年比)	うち鳥取県関連(対前年比)
プロモーションゾーン(1F)	89日(137%)	51日(138%)
催事スペース(2F)	76日(100%)	32日(84%)

(2) 主なイベント等

【鳥取県中部地震復興イベント】

・中部地震復興がんばろうプロジェクト(10/27~)

地震で落ちた梨や被災した中部の産品の販売特設コーナーを設置し、10/27には、知事をはじめ

地元観光関係者、生産者による梨の試食販売を行い、元気な鳥取県をPRし、地震による風評被害払拭と被災した生産者の支援を図った。

- ・合格まちがい梨・地震で割れなかった幸運のワイン販売(11/18～、11/22～)  
地震でも落ちなかった梨(王秋)、割れなかった北条ワインを、それぞれ11/18及び11/22より縁起物として販売し、メディア等で取り上げられ話題につながった。
- ・復興支援「ふるさと納税」PRイベント(12/21、26～27)  
地元被災地の高校生による復興支援のお願い、鳥取県出身の石浦関他の著名人による復興支援メッセージの掲示等により復旧復興の状況を伝え、来場者から鳥取県を応援する声をいただいた。

【その他】

- ・野菜ソムリエセミナー(鳥取県・岡山県農産物PRイベント)(10/7,8)  
日本野菜ソムリエ協会と連携し、レストランや青果店などを対象に、鳥取県産ねばりっこ等の魅力を紹介し、両県の旬の農産物の周知、販売促進を図った。また、翌日には試食宣伝を行った。
- ・リオ五輪出場・富田千愛選手と明治大学端艇部・角監督を囲む会(10/24)  
富田選手、角監督のほか、明治大学端艇部で活躍する鳥取出身の選手や東京鳥取県人会会員も参加し、富田選手から帰国報告と東京五輪に向けての意気込みを語っていただいた。
- ・鳥取和牛ランチセミナー(11/29)  
とっとり・おかもやま新橋館での「鳥取和牛ランチフェア」(11/30～12/13)の一環として、首都圏の有名料理人(分けとく山 野崎総(のぎき さとし) 料理長)を講師に招き、「鳥取和牛ランチセミナー」を実施し、鳥取和牛を始め県産食材の魅力を紹介した。
- ・鳥取県ふるさと認証食品等PRイベント(12/3～4)  
鳥取県産品であることを示す「鳥取県ふるさと認証食品」等の県産品の試食販売を行い、「鳥取県ふるさと認証食品」等の認知度向上や今後の販売促進を図った。

5 観光・移住コーナーにおける相談実績

	相談件数(対前年比)	うち鳥取県関連(対前年比)
観光・移住相談件数	326件(142%)	212件(161%)

※利用者の声

- ・鳥取県中部地震の復興のための募金やふるさと納税をしたいと来館した。
- ・地震に対する寄附として買い物に来た。観光をすることで応援になると思い旅行を検討している。

6 ビジネスセンターの長期利用契約件数

13社13ブース利用(うち鳥取県6社6ブース)

7 チャレンジ商品(県産品のテスト販売)

11社32品目がチャレンジ商品として出展した。(出展商品についてのアンケート回収数 102件)  
内、定番昇格8品目(純米酒七割磨き強力ワンカップ/大谷酒造(株)、彩りジュレチキン/大山ハム(株)、ゆず緑茶/農事組合法人 陣構茶生産法人 等)

8 マスコミへの露出

テレビ10件、ラジオ8件、新聞13件、雑誌7件、インターネット33件

9 1月以降の主なイベント(予定)

【鳥取県中部地震復興イベント】

- ・「“もっと”合格まちがい梨(愛宕梨)」の販売(1/4～)
- ・とっとり・おかもやまジビエフェア(中部の県産品(ジビエ加工品、北条ワイン)の販売)(1/20～22)
- ・鳥取県中部地震復興がんばろう 石浦関トークイベント(2/20)

【その他】

- ・移住イベント「とうきょうの真ん中で地方暮らし・子育てを考える」(1/28～29)
- ・首都圏在住外国人向け鳥取県PRイベント(2/9)
- ・水木しげる記念館特別展(3/4～8)
- ・休日移住相談会(3/18)